

対象国の条件:

研修コース番号:201984275-J002

案件番号:201984275

主分野課題:教育/初等教育

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

途上国で入手可能な材料を用いた簡易実験を開発し、それを活用した児童中心の問題解決型の授業を行うための学習指導案の作成手法を習得する。簡易実験、観察、ものづくりなどの活動を通して科学的概念の理解を促進する授業の計画および実践ができるようになることを本研修の焦点とし、これに加えて日本の初等理科教育現場の視察、及び作成した学習指導案に沿った授業を行うことにより、小学校理科の教授能力を向上させることを目指す。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 研修員の所属機関において研修員により、単元を見通した学習指導案の作成や簡易実験の導入などの授業法が共有される。</p> <p>【成果】 1. 日本の理科教育現場を理解し、自国への適応可能性を検討できる。 2. 初等教育に関わる幅広い理科簡易実験や観察・ものづくりを理解・体験し、実際に開発・実施できる。 3. 課題設定、課題解決のプロセス、授業評価などの基本要素が含まれており、かつ児童の学習段階に応じた初等理科指導計画を作成できる。</p>	<p>【対象組織】 教育訓練機関および教員養成機関</p> <p>【対象人材】 1. 理科の教師として生徒への実践的な指導経験を持っており、自国の教育現場の現状を理解している。 2. カリキュラムの発展、教授法、初等理科教育における自国の方針に関する知識がある。 3. 教師に対するインストラクターとしての実践的な指導経験がある。 4. 初等理科教育についての発展や普及に関わっている。など</p>

内 容	本邦研修期間	2019/10～2019/12
<p>【事前活動】 自国の小学校理科教育の現状、及びその課題を抽出したレポート、及び理科授業の映像の提出</p> <p>【本邦活動】 以下の内容の講義、実習、視察、討議を行う。 1. 帯広市児童会館と北海道立教育研究所附属理科教育センターにおいて理科の簡易実験、ものづくり、観察方法を習得する。 2. 施設訪問や教員研修視察により、日本の理科教育現場を理解する。 3. 日本の教育制度・児童中心型教育を理解する。 4. 理科の簡易実験を含む学習指導案の作成、日本の学校にてグループでの模擬授業の実践をする。 5. 日本の小学校理科教育を理解し、研修員の間で各国との比較検討がされる。 6. 作成した学習指導案や模擬授業を研修員の間で評価・議論し、改善される。</p> <p>【事後活動】 1. 本邦研修で開発した簡易実験及び学習指導案を関係者に共有 2. 帰国後に行った活動をJICAに報告</p>	担当課題部	人間開発部
	所管国内機関	JICA北海道（帯広）
	関係省庁	
	実施年度	2018～2020

主要協力機関	十勝インターナショナル協会
特記事項 及び ホームページ	